

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月26日(土) 10:00～11:10

会場

荻浜中学校 体育館

参加者数

約100名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
安全な高台への移転は、いつ頃から始まるのか。候補地の希望を地域毎に行政に伝えればいいのか。	計画がまとまった地域から、順次移転を行う。これから国へ整備計画を提出し予算措置するので、目安だが来年3月からになる。 候補地は各浜単位から得た情報を精査し、法的規制が無いかなど調査したうえで、地区の方と意見交換し決定したい。
高台移転の具体的方法は。	防災集団移転促進事業を活用するため5軒以上での移転となる。市が法的条件など移転先の調査をして土地を造成するので、その土地を借用または購入し、各々家を建設する。そのほか、公営住宅を借りるという選択がある。詳細は説明会を予定しているので、その際に示す。
半島の個人所有の土地は買取りしてもらえるのか。	土地を何に利用するかによる。必要な土地があれば買取る。高台移転後の跡地の活用については、意見交換を行ったうえで決めたい。
将来を見据えたまちづくり進めてほしい。高台移転先も広く造成し、誰が来ても良いように、分譲地を設けるなど、人口を増やしたい。ここで買い物ができるにしてほしい。	地域に住み続けてもらうために医療体制、健康の維持、インフラ整備、住宅の問題に対応していく。過疎地域、高齢化に対応するため、災害公営住宅の1階に医療施設やコンビニのような店舗などを入れる構想もある。産業の活性化として、牡鹿半島で漁業のほか観光産業に力を入れたい考え。これからも一緒に考えさせていただきたい。
ノロウイルスがでているので、下水道復旧を早期にお願いしたい。	東部下水道地区は処理場を復旧する。 月浦、侍浜地区の漁業集落排水事業は復旧が不可能な状態なので、何軒かの集落単位での下水道処理に切り替えていく。半島部は同様の方法または個人での浄化槽という方法で考えている。
県道の嵩上げがあるのか。また、仮信号部分はいつ復旧するのか。	県に確認し、支所を通じてお知らせする。

質問・意見	回答
県道は、女川原発からの避難路にもなっている。数か所寸断されているが復旧のスケジュールは。	国の補助を受け災害復旧事業で対応するため、査定を受けている段階で、その後の着工になる。早く復旧するよう要望している。また、県道は、今後、浸水したところを避けて整備するよう県に要望していく。
牧浜から小積浜の市道はいつごろ通れるようになるのか。	年内中に片側通行可能。また、福貴浦から孤崎浜間は土砂崩れで時間がかかるので、来年3月発注の見通し。
牡鹿半島にバイパスを通すようなプロジェクトを入れてほしい。	谷川浜から小積浜までの道路を新設したい。
解体申請をした全壊の住宅はいつ解体になるのか。	順次解体を進めているが、件数が多く、進まない状況。もう少し時間をいただきたい。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
住宅の嵩上げに対する助成はないのか。	嵩上げへの補助は石巻市としてはない。
市立病院はどこに移転するのか。北上川の東側に整備すると医療体系が変わると思う	市全体のバランスを考えて決めていきたい。
生活再建支援金の申請期限の延長はできないのか。	現状の被災状況を踏まえ、国のほうに既に要望しているが、復興状況を見ながら随時、延長を要望したい。

自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
水産物の放射能対策の現状は。	県と東北大学が定期的に測定を行なっている。 買受人が中心となり市場に揚がる水産物を測定するという動きもある。 牡蠣は市・県・漁協が協議し、実効性のあるシステムを構築していく。
漁港は集約せず、各漁港を復旧するのか。	漁港の集約とは拠点となる漁港をどうするか検討ということで、原則として各漁港は元の状態に復旧する。
各漁港で30mの応急かさ上げを実施しているが、竹浜はいつなのか。漁港は何年で復旧するのか。	12月末までに応急復旧する。現在、国の災害査定を受けているが原形復旧は平成27年度までの5か年で対応する。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
保育所はどうなるのか。	配置計画を早急に検討して、お知らせする。
荻浜地区3小中校の耐震工事は。	平成26年度までに全完了の予定だったが、学校の復旧を先に実施しながら、耐震計画も練り直していきたい。